

わたしあうまち 高梁市

Bridging Together

TAKAHASHI CITY

高梁市プロモーション キャッチコピー

TAKAHASHI CITY PROMOTION SLOGAN

おだやかな川に沿って走る電車が、わたしを連れてゆく。

都市部から遠すぎず、近いとも言えない、山間のまちへ。

晩秋から冬にかけて、このまちは霧に覆われる。

まだ人通りのない早朝、広がる雲海。

霧に守られて育ったお茶や果樹は、ふくよかでやさしい味がする。





ベンガラの、深く鮮やかな赤がまぶしい吹屋。

備中松山城下に広がるまちなみ。

かつての姿を残しながら、そこには今も暮らしが息づいている。

行き交う人々がまちの空気を動かす。

下校中の子どもたちは、車で通りかかったわたしにも気持ちのいい挨拶をしてくれた。





猫がのんきにあくびをして、ヤギもまた、のんきに草をはんでいる。

集落のはずれにひっそりと佇む神社と、

まちなかに位置するカトリックの教会には、どこか似た時間が流れていた。



このまちは、「わたし合う」場面にあふれている。

玄関先で、すっと差し出される缶コーヒー。

ずっしり重たい、ビニール袋いっぱいの野菜。

体に染み込むお囃子のリズム。

受け継がれる伝統や暮らしの知恵。

親から子へ。お隣さんからお隣さんへ。

地元の人から新参者へ。過去から未来へ。その逆も。

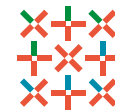


受け取るとわたしになって、わたすとんだか心地いい。

身軽になって、誰かにまた、何かをわたしたくなる。

このまちの日常が、わたしは好きだ。

わたし合うまち。わたしに逢うまち。ここは、たかはし。



わたしあうまち 高梁市
bridging Together TAKAHASHI CITY

おだやかな川に沿って走る電車が、わたしを連れてゆく。都市部から遠すぎず、近いとも言えない、山間のまちへ。

晩秋から冬にかけて、このまちは霧に覆われる。

まだ人通りのない早朝、広がる雲海。

霧に守られて育ったお茶や果樹は、ふくよかでやさしい味がする。

ベンガラ、深く鮮やかな赤がまぶしい吹屋。

備中松山城下に広がるまちなみ。

かつての姿を残しながら、そこには今も暮らしが息づいている。

行き交う人々がまちの空気を動かす。

下校中の子どもたちは、

車で通りかかったわたしにも気持ちのいい挨拶をしてくれた。

猫がのんきにあくびをして、ヤギもまた、のんきに草をはんでいる。

集落のはずれにひっそりと佇む神社と、

まちなかに位置するカトリックの教会には、どこか似た時間が流れていた。

このまちは、「わたし合う」場面にあふれている。

玄関先で、ずっと差し出される缶コーヒー。

ずっしり重たい、ビニール袋いっぱい野菜。

体に染み込むお囃子のリズム。

受け継がれる伝統や暮らしの知恵。

親から子へ。

お隣さんからお隣さんへ。

地元の人から新参者へ。

過去から未来へ。

その逆も。

受け取るとわたしはたかくなって、わたしとなんだか心地いい。

身軽になって、誰かにまた、何かをわたしはたかくなる。

このまちの日常が、わたしは好きだ。

わたし合うまち。わたしに逢うまち。ここは、たかはし。